

9T00

425

2

同 登

庶務科	第一科	第三科	第四科	第五科	第六科
					

軍



命通牒ス

陸亞普第一七〇號

二百三十億完遂郵便貯金強調運動ニ關スル件關係陸軍部隊へ通牒

昭和十八年二月三日

陸軍省副官 川

原直一

大東亞戰爭完遂ニ要スル國債消化資金及生産擴充資金ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲昭和十七年度ニ於ケル貯蓄目標ハ二百三十億圓ト定メラレアル處今般政府ニ於テハ本年度繰尾ノ努力ヲ傾倒シ之ヲ達成スル目的ヲ以テ別紙要綱ニ依リ二百三十億完遂郵便貯金強調運動ヲ實施スルコトト相成タルニ付所屬軍人軍屬並關係工場ニ對シ指導相成度依

二百三十億完遂郵便貯金強調運動實施要綱

貯金局

一 趣 旨

大東亞戰開戦一周年ヲ契機トスル國民運動ノ活潑ナル展開ハ國民貯蓄増強ノ部面ニ於テモ相當效果ヲ齎シタリト雖モ年度初頭以降ノ實績ヲ通觀スルトキ本年度目標額二百三十億ノ達成ニハ前途尙容易ニ樂觀ヲ許サザルモノアリ、愈々第四半期ニ於テハ本年度掉尾ノ努力ヲ傾倒シ一億國民ヲシテ戰爭生活ノ實踐ニ徹セシメ貯蓄ノ増強ニ邁進ヲ促シ斷ジテ之ガ必遂ヲ期セザルベカラズ

郵便貯金ハ昨十七年二月十一日紀元ノ佳節ヲ期シ開戦勢頭ノ大戰果ニ對スル國民ノ感激ヲ貯蓄ニ表現セシメントスル「戰勝感謝郵便貯金實踐運動」ヲ展開セルガ茲ニ其ノ一周年ヲ迎フルヲ機トシ曩ニ大藏省國民貯蓄局ノ主唱ニ係ル「二百三十億貯蓄完遂特別計畫」及大政翼賛會主唱「必勝貯蓄運動」トノ三者一體化ニ依ル強力且具體的推進方策ヲ講ジ以テ前記目標ノ完遂ニ邁進ナキヲ期セントス

二 運動ノ名稱

二百三十億完遂郵便貯金強調運動

三 運動ノ主體

本運動ハ逓信省、大藏省及大政翼賛會ノ共同主催トシ地方ハ逓信局、地方廳（地方事務所ヲ含ム）及大政翼賛會道府縣並ニ六大都市支部共同之ヲ推進スルモノトス

四 運動期間

自昭和十八年二月十一日
至 同 三月末日

五 實施方針

イ 前記特別計畫及各運動要綱ニ掲擧セル方針ニ則スルノ外特ニ本運動ニ在リテハ地方ニ於ケル指導機關ト逓信局及郵便局トノ緊密ナル連繫ニ依ル實質的成果ノ擧績ニ重點ヲ置クモノトス

ロ 右ニ即應シ國民啓發宣傳ハ貯蓄ニ對スル國家的意義ノ闡明徹底ト併セ郵便貯金就中戰時貯蓄ノ適格性ヲ有スル定額、積立貯金及貯金切手制度ノ周知普及ニ主點ヲ置クコトトシ

一面郵便局ハ從業員舉ゲテ具體的勸奨ニ邁進スルモノトス

六 推進方策

イ 逓信局、地方廳及大政翼賛會道府縣並ニ六大都市支部ハ協議ノ上前項方針ニ即應シ且地方ノ實情ヲ勘案セル特別推進計畫ヲ樹立シ之方勵行ニ努ムルモノトス

尙右ニ關シテハ左ノ事項ヲ考慮スルコト

1 從來貯蓄ノ實踐低調ナル階層ニ對シ有效適切ナル獎勵施策ヲ重點的ニ講ズルコト

2 特ニ都市ニ在リテハ地域及職域等ノ組織體ヲ通ズル系統的運動ノ外國民ノ日常生活面ニ於ケル消費的行爲ニ反省ヲ與ヘ戰爭生活ノ實踐ヲ示唆スル具體的施策ヲ講ズルコト

3 既設ノ地方的施策(例、大詔奉戴日ニ於ケル神前貯金ノ取扱、特定日ニ於ケル國民貯蓄動員運動等)ヲ中央

ニ於テ調査ノ上之ガ優良ナルモノヲ各地方ニ通知シ實施ヲ慫慂スルコト
貯金ノ具體的勸奨方策ニ關シテハ概ネ次ノ方針ニ則ルモノトス

1 一般的勸奨

主トシテ浮動性資金吸收ヲ目標トシ左ノ勸奨ニ努ムルコト

甲 定額貯金

乙 積立貯金

丙 貯金切手

2 團體ヲ對象トスル勸奨

主トシテ左ノ勸奨ニ努ムルコト

甲 積立貯金

乙 貯金切手

(貯金切手ノ計畫的消化ヲ可能ナラシムルヤウ措置スルコト)

尙郵便局ハ地方事務所及團體等ト協議連繫ノ上此ノ機ニ國民貯蓄組合未結成分野ノ徹底的解消並ニ未加入者ノ絶滅ヲ期スルト共ニ實情ニ依リ貯蓄額ノ引上慫慂ニ努ムルコト

七 推進施設

前記諸方策ノ推進ヲ助長スル爲施設豫定ノ事項概ネ次ノ如シ

イ 中 央

1 中央連絡協議會開催

(一) 社會教育團體トノ協議

(二) 宗教團體トノ協議

(三) 産業團體トノ協議

(四) 藝能團體トノ協議

2 全國貯金推進功勞者懇談會開催

3 周知宣傳

(一) 常會徹底事項ニ加フルコト

(二) ラジオ、新聞、雜誌等報導機關利用

(三) ポスター、壁新聞等印刷物調製配付

ロ 地 方

1 地方連絡懇談會開催

2 趣意書及依頼狀ノ發送

3 講演會開催

4 周知宣傳

- (一) ラジオ及地方新聞等報導機關利用
 - (二) 隣組同覽板用印刷物調製配付
 - (三) 立看板調製
- 5 右ノ外地方ノ實情ニ即應スル適切ナル施設ニ就キ可及的考慮ノコト

二百三十億完遂郵便貯金強調運動推進要目

一 要 旨

本運動ハ郵便貯金ヲ中心トスル「二百三十億貯蓄完遂特別計畫」及「必勝貯蓄運動」ノ強力ナル推進ニ依リ本年度貯蓄目標額二百三十億圓ノ完遂ニ掉尾ノ努力ヲ傾倒スルト共ニ併セテ明年度國民貯蓄運動ノ前哨運動クラシメントスルモノナルカ之カ實施ニ當リ特ニ留意ヲ要スルハ本運動ヲシテ單ニ抽象的運動ニ終ラシムルヲ避ケ飽迄實踐運動トシテ具體的成果ノ舉績ヲ主眼トスヘキ點ニ在ルモノトス、之カ爲主體機關ノ主トシテ配慮スヘキ事項ヲ舉クレハ次ノ如シ

イ 中央及地方ノ主體各機關ハ關係官廳並ニ關係團體等ト相互緊密ナル聯繫ヲ保持シ、殊ニ市區町村及夫レ以下ノ下部組織ニ於テハ地方自治體、大政翼贊會支部及關係團體等ト地元郵便局トノ鞏固ナル協力推進態勢ヲ確立セシムルコトニ重點ヲ置キ以テ具體的成果ヲ舉クル上ニ間然スル所ナキヲ期スヘキコト

ロ 本運動ノ實施ニ伴フ各般ノ施策カ特ニ地方ニ於テ形式的ニ通牒文書ヲ發信スルニ止リ爲ニ其ノ趣旨カ各組織ノ末端ニ徹底セス具體的進展ヲ示ササルカ如キコトナキヤウ地方主體機關ハ各、積極的指導トヲ肝要トスルト共ニ其ノ主腦部ハ可及的ニ夫、所謂陣頭指揮ニ當リ以テ之カ熱意ノ昂揚ニ努ムヘキコト

二 推進施策

本運動實施ノ核心ハ郵便貯金ヲ中心トシテ「二百三十億貯蓄完遂特別計畫」及「必勝貯蓄運動」ノ一般的強化推進ヲ圖ルニ在ルモノナル處就中既往ノ實績ニ徴シ貯蓄成績不振ナリト認メラル地域及職域、時局ノ影響ニ依リ收入

ノ激増ヲ來セルニ拘ラス貯蓄ノ實踐之ニ伴ハサル階層其ノ他一般ニ舊體制的意識濃厚ニシテ今尙戰爭生活實踐ニ徹セサル分野等ヲ主タル對象トシ之ニ對シ重點的ニ強力且組織的ナル推進ヲ行ヒ以テ本運動ノ成果ヲ效率的ナラシムル爲萬全ノ方途ヲ講スル要緊切ナルモノトス

即チ左ニ掲擧セルハ其ノ主タルモノナルカ地方ニ在リテハ本運動ノ特別推進計畫ヲ樹立スルニ當リ右ノ意圖ニ則リ更ニ夫ノ特殊事情ニ適應スル有效ナル施策ヲ勘案實施スヘキモノトス

イ 地域、職域及各種團體ノ貯蓄組合ニ對スル推進

1 陸海軍管理工場

所轄監理官ノ贊同ヲ求メ今次侍從武官御差遣ノ光榮ヲ戰爭生活ノ實踐ニ具現シ且之ヲ永ク記念セシムル趣旨ニ於テ組合貯蓄額ノ倍加、記念貯金ノ創始又ハ貯金切手購入會組織等ノ方途ヲ講スルコト

2 工場、鑛山及事業場等

關係官廳、大日本產業報國會及當該職域代表者等ノ協力ニ依リ之等勞務者、就中獨身者青少年ノ浪費抑制ヲ徹底セシムル爲貯金額引上ノ措置ヲ講スルコト

3 其ノ他ノ地域、職域及各種團體

市區町村、其ノ他適當ト認ムル地域内ニ於ケル各貯蓄組合ノ實績ヲ支障ナキ限り發表スルト共ニ諸團體内ニ貯金切手購入會ヲ組織セシムル等適宜ノ方法ニ依リ成績ヲ向上セシムル方途ヲ講スルノ外貯蓄組合未結成分野又ハ未加入者ヲ存スル向ハ此ノ機會ニ徹底的解消ヲ期スルヤウ努力スルコト

ロ 高額収入アル自由職業者、商工業者及自由労働者等ニ對スル推進

1 高額所得アル階層

比較的高額所得アル自由職業者(文士、畫家、醫師、辯護士、計理士等)、時局ノ影響ニ依リ收入ノ激増セル商工業者及自由労働者(大工、植木職、木挽、木出、馬車引等)等ニシテ尙貯蓄ノ餘力ヲ存スルモノト認メラルル向ニ對シテハ日本産業報國會、商業報國會其ノ他各個ノ屬スル團體ノ協力ニ依リ其ノ團體ヲ通シ、又斯ノ種ノ組織ヲ有セサル自由労働者ニ對シテハ地方自治體並ニ大政翼賛會支部等ノ協力ニ依リ夫、各個ニ依賴狀ヲ發シ且之ニ依リ具體的ニ貯蓄ヲ補捉スル方策ヲ講シ舉績ニ努ムルコト

2 臨時ニ多額ノ收入アリタル階層

其ノ他臨時ニ多額ノ收入アリタル向ニ付テモ關係官廳、地方自治體其ノ他關係團體ノ協力ニ依リ之ヲ可及的貯金ニ振向ケシムルヤウ適宜ノ方策ヲ講スルコト

ハ 大都市及股賑産業地帯ニ對スル推進

1 婦人(主婦)

大都市及股賑産業地帯ノ貯蓄成績ハ未タ概シテ低調ナルカ之カ成績ヲ向上セシムル爲ニハ之等地帯ノ婦人、就中主婦ノ自覺ニ俟ツヘキモノ多大ナルニ鑑ミ大日本婦人會ノ協力ニ依リ地域的ニ座談會又ハ講演會ノ開催其ノ他有效適切ナル方法ニ依リ之カ啓蒙ニ努メ戰爭生活ノ實踐、貯蓄ノ増強ヲ強調スルコト

2 街頭等進出

適當ナル期日(例、二月十一日ノ紀元節、三月八日ノ大詔奉戴日、三月十日ノ陸軍記念日。其ノ他本運動期間中隨時)ニ於テ主トシテ左ノ方策ヲ講スルコト

- (一) 社會教育團體(日本教育紙芝居協會等)ノ協力ニ依リ街頭、其ノ他ニ於テ啓發宣傳ニ努ムルコト
- (二) 大日本婦人會、女子青少年團等ノ協力ニ依リ郵便貯金切手ノ街頭賣捌ヲ行フコト
- (三) 藝能團體ノ協力ニ依リ興行場、街頭等ニ於テ啓發宣傳及郵便貯金切手ノ賣捌ヲ行フコト
- (四) 移動郵便車ヲ出動セシメ郵便貯金ノ預入取扱、郵便貯金切手ノ賣捌ヲ行フコト

ニ 其ノ他貯金ノ實績低調ナル地域ニ對スル推進

關係官廳、地方自治體、大政翼賛會支部、關係團體、地方有力者、其ノ他ノ推進機關及郵便局等ノ協力ニ依リ成績不振ノ原因ヲ檢討究明ノ上時局認識ノ昂揚、戰爭生活實踐ノ指導、貯蓄源泉ノ培養斡旋等ニ具體的施策ヲ講スル一面宗教團體、社會教育團體等ノ支援ニ依リ貯金ノ個別勸奨其ノ他當該地方ノ實情ニ適應スル有效ナル手段ヲ多角的ニ採用シ以テ貯蓄成績ノ向上ニ努力邁進スルコト

三 施設事項

イ 中 央

本運動ノ推進ヲ圖ル爲中央ニ於テ施設スヘキ事項概ネ次ノ如シ

1 常會徹底事項トシテ提案

本運動ヲ三月ノ常會徹底事項ニ加フル様取扱フモノトス

2 中央連絡協議會開催（一月下旬乃至二月上旬）

中央主體機關及左ノ各團體ノ主任者會合シ本運動ノ推進方策ニ關シ協議スルモノトス

(一) 社會教化團體

(二) 宗教團體

(三) 産業團體

(四) 藝能團體

3 全國貯金推進功勞者懇談會開催（二月中旬）

郵便貯金ノ推進ニ協力セル全國民間功勞者中若干名ヲ選ヒ中央ニ招待シ體驗ノ發表、意見ノ交換等ヲ行フモノトス

尙本懇談會ノラジオ中繼放送及記録刷成配付等ニ就テモ考慮ノコト

ロ 地方

左ノ事項ノ實施ニ付キ考慮スルコト

1 地方連絡協議會ノ開催

(一) 府縣及六大都市ヲ單位トスルモノ

地方主體機關、關係官廳及主タル關係團體ノ主任者並ニ有力者等會合シ地方ノ實情ニ即シタル運動推進方策等ニ關シ協議スルモノトス

(二) 郡、市、町、村等適宜ノ地區ヲ單位トスルモノ

地域又ハ職域ヲ中心トシ前項ニ準シ郵便局、地方自治體大政翼賛會支部、其ノ他當該地區内關係者會合シ運動推進ニ關スル具體的舉措方策ニ就キ協議懇談スルモノトス

2 趣意書及依頼狀ノ發送

地方有力者、職域代表者、部落會及隣保班代表者等ニ對シ地方主體機關連名ノ依頼狀ヲ發送スルコト

3 講演會、座談會等ノ開催

四 周知宣傳

イ 中 央

1 報導機關ノ利用

(一) ラジオ放送

ニュース放送、名士ノ講演放送、ラジオ太郎トノ對話、其ノ他有效ナル利用方法ヲ講スルコト

(二) 新聞

期間中、隨時本運動ニ關スル新聞記事ヲ掲載セシムルコト

(三) 雜誌類

各種雜誌ニ本運動ニ關スル記事ヲ掲載セシムルコト

週報寫眞週報同盟グラフニ廣告掲載ノコト

2 ポスター

貯金川柳ヲ利用セル豆ポスター、小型ポスター及翼賛壁新聞ノ調製

ロ 地 方

1 報導機關ノ利用

(一) ラジオ放送

ローカルニュース等ノ利用

(二) 新 聞

地方新聞ニ記事投稿又ハ廣告

2 印刷物ノ調製

隣組回報其ノ他地方事情ニ即シタル印刷物等ノ調製

五 報 告

イ 地方主體機關ハ本運動終了後之カ施設、推進狀況及其ノ效果等ヲ報告スルコト

ロ 地方主體機關ハ各下部組織ヨリ前項ニ準シ報告ヲ徴シ又期間中ト雖モ隨時推進狀況ヲ報告セシメ注視スルコト